



## ② 中高 音楽科問題の解答について (注意)

1. 問題【1】～【9】、【10】(1)～(5)・(7)～(8)の解答は別紙のマークシートに  
問題【10】(6)、【11】の解答は解答用紙に } 記入すること。
2. 問題【1】～【9】、【10】(1)～(5)・(7)～(8)の解答(マークシート使用)については、次の点に注意すること。
  - ① マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
  - ② 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照)  
消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
  - ③ 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
  - ④ 名前の記入 名前を記入すること。
  - ⑤ 教科名の記入 教科名に「音楽」と記入すること。
  - ⑥ 解答の記入 ア. 問題【1】～【9】、【10】(1)～(5)・(7)～(8)の小問の解答番号は1から63までの通し番号になっており、例えば、10番を 10 のように表示してある。  
イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。  
ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。  
エ. 各問いに対して一つずつマークすること。
3. 解答用紙は、キリトリ線で切り離して使用すること。
4. 解答用紙に受験番号を記入すること。

(マークシート記入例)

フリガナ	ユウベタロウ	教科名	音楽
名前	神戸太郎		

数字で記入……

受験番号					小問番号	解答記入欄	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答
						1 - 25		26 - 50		61
1	2	3	4	0	1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
0	0	0	0	0	2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
0	0	0	0	0	3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
0	0	0	0	0	4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
0	0	0	0	0	5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
0	0	0	0	0	6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
0	0	0	0	0	7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
0	0	0	0	0	8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
0	0	0	0	0	9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
0	0	0	0	0	10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
0	0	0	0	0	11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0



【1】「学習指導要領解説（平成29年7月）特別の教科 道徳編」に記載されている道徳教育と「特別の教科 道徳」（道徳科）について、次の問いに答えよ。

(1) 道徳教育の目標について、次の（ ）に入る言葉を①～⑤から選び、番号で答えよ。

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（\*人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる（ ）を養うことを目標とする。

（\*は、中学校、特別支援学校中学部に追加）

- ① 系統性    ② 人間性    ③ 社会性    ④ 道徳性    ⑤ 規則性

1

(2) 道徳科の指導の基本方針について、誤りのあるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 教師と児童生徒、児童生徒相互の信頼関係を基盤におく。  
② 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図る。  
③ 児童生徒の発達や個に応じた指導を工夫する。  
④ 道徳科の特質を理解した上で行う。  
⑤ 道徳科の授業は、校長や教頭、他の教師との協力的指導のもと、担任のみで行うものである。

2

(3) 道徳科の評価において留意すべきことの中で、誤りのあるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、認め、励ます評価を行う。  
② 他の児童生徒と比較し、文章記述による評価を行う。  
③ 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する。  
④ 道徳科の評価は、入学者選抜の合否判定に活用しない。  
⑤ 授業者自らが授業中のメモ、板書の写真、録音、録画などによって、学習指導過程や指導方法を振り返ることも大切である。

3

【2】 下の楽譜について、次の問いに答えよ。

(1) (ア) にあてはまる歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① はなも    ② ふねに    ③ さざり    ④ からす    ⑤ あらし

4

(2) (イ) の音の階名 (移動ド唱法) を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ラ    ② シ    ③ ド    ④ レ    ⑤ ミ

5

(3) (ウ) の部分にあてはまる旋律を①～⑤から選び、番号で答えよ。

①

②

③

④

⑤

6

(4) この曲の速度として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① = 56～60      ② = 66～74      ③ = 78～84  
④ = 96～104      ⑤ = 116～126

7

(5) この曲が表している情景として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 冬になり始めたころの美しい日本の風景  
② 白銀の山で、風を切って勢いよくすべる様子  
③ 春の日ざしをあびて流れる小川の様子  
④ あたり一面のさくらの花が、朝日にそまって美しい様子  
⑤ 日暮れから、おぼろ月の出た夜へと移っていく春の情景

8

(6) 「歌詞の表す情景を思いうかべながら、強弱記号に気を付けて歌いましょう」という学習目標を設定して、この曲を教材に小学校5年生で授業をする。学習活動として適切でないものを①～⑤から2つ選び、番号で答えよ。

- ① リズム打ちなどをしながら、躍動感のある旋律の特徴を感じ取って歌う。  
② 歌詞の内容を踏まえ、3段目のフレーズに最高音があることや曲全体のまとまりに気を付けて、思いを込めて歌う。  
③ 時間や場面が変わっていく情景を想像しながら歌詞を読む。  
④ ことばのまとまりを意識するために、8分休符を大切にしながら歌う。  
⑤ 旋律の上行形には 、下行形には の記号が付いていることに気付き、強弱を工夫して歌う。

9

10

【3】 下の楽譜について、次の問いに答えよ。(原曲は変イ長調)

- (1) この曲の作曲者について書かれた文章を①～⑤から選び、番号で答えよ。
- ① 東京生まれ。東京音楽学校の教授であり、オルガンの奏法についての第一人者。
  - ② 東京生まれ。東京音楽学校から同研究科入学。当時のロマン的風潮を反映した傑作が多い。
  - ③ 秋田県生まれ。東京音楽学校卒業後、ドイツへ留学。帰国後は童謡運動に参加して、民衆の音楽向上に尽くした。
  - ④ 東京生まれ。我が国最初の交響楽団を組織する一方、オペラの普及などにも努めた。
  - ⑤ 鳥取県生まれ。東京音楽学校研究科卒業後、文部省唱歌の編集、作曲委員として多くの唱歌を作曲する傍ら、熱心なクリスチャンとして礼拝のオルガンを弾き、聖歌隊を指導した。

11

- (2) この曲の形式を①～⑤から選び、番号で答えよ。
- ① 一部形式      ② 二部形式      ③ 三部形式      ④ ロンド形式
  - ⑤ 複合三部形式

12

- (3) 楽譜中「」の2番の歌詞として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。
- ① 雲のさまよ      ② 風の音よ      ③ 月の色も
  - ④ 星のかげも      ⑤ 寄する波よ

13

(4) 楽譜の  部分の伴奏として作曲者がつくったものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

14

(5) この曲を学習する過程で、生徒が創意工夫して表現するために必要な技能を身に付けられるようにする。指導上の留意点としてふさわしいものを、次の①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① すべてが2小節でひとまとまりのフレーズになっていることを感じながら、ブレスなどに気を付けて歌わせる。
- ② 独唱でもいいが、斉唱させることで、より主体的な活動へのアプローチとなるようにする。
- ③ デクレシェンドしながら最後まで音を伸ばして歌うことができるような呼吸の仕方を工夫するように促す。
- ④ 「サ行」「ハ行」「マ行」の子音は軽く無声音的に発し、日本語の美しさを感じることができるようにする。
- ⑤ 濁音は、はっきりと発音するように助言する。

15

(6) 「情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう」という学習目標を設定して、この曲を教材に授業をする。学習活動として適切なものを①～⑤から2つ選び、番号で答えよ。

- ① 歌詞の表す情景を思い浮かべて、強弱の変化に気を付けながら歌う。
- ② 歌のフレーズを感じ取り、伴奏をよく聴きながら、4拍子の流れに乗って歌う。
- ③ 歌詞の表す情景や心情と、調の変化とのかかわりを考えながら、各フレーズや伴奏の変化を生かした音楽表現を工夫する。
- ④ 歌詞の表す情景と演奏形態の変化とのかかわりについて、気付いたことや感じたことを自由に話し合う。
- ⑤ 伴奏を聴いて、伴奏の音のつながり方や強弱と波の動きとのかかわりについて自由に話し合う。

16
----

17
----



【4】 下の各文について、空欄にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(1) 現在みられるクラシックギターは、19世紀末に（ ）で開発され、タレガやセゴビアといった名演奏家によって奏法が確立された。

- ① イタリア      ② ドイツ      ③ スペイン      ④ オランダ      ⑤ フランス      18

(2) ギターのチューニングは、（ ）を締めると音が高くなる。

- ① ヘッド      ② ペッグ      ③ フレット      ④ ナット      ⑤ ブリッジ      19

(3) 箏・尺八・（ ）の合奏を、三曲合奏という。

- ① 小鼓      ② 鞆鼓      ③ 篠笛      ④ 琵琶      ⑤ 三味線      20

(4) 箏の奏法において、左手を用いて余韻の音高を高く変化させることを（ ）という。

- ① 後押し      ② 押し手      ③ 流し爪      ④ 合わせ爪      ⑤ スクイ爪      21

(5) 三味線は、16世紀後半に伝来したといわれる中国の三弦を改良したもので、（ ）時代に庶民の楽器として広く親しまれるようになった。

- ① 奈良      ② 平安      ③ 鎌倉      ④ 室町      ⑤ 江戸      22

(6) 三味線は、使用される音楽のジャンルによって棹の太さやばちの形が異なる。文楽の義太夫節に使用されるのは（ ）である。

- ① 細棹      ② 中棹      ③ 太棹      ④ 津軽      ⑤ 地唄      23

【5】 下の楽譜について、次の問いに答えよ。



(1) 次の文はこの曲の作曲者について書かれている。(ア) (イ) にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び番号で答えよ。

作曲者は(ア)の音楽一家に生まれた。音楽大学卒業後、しばらく(イ)奏者を務めたのち、音楽教師として生計を立てながら作曲活動が続けた。(ア)音楽復興の立役者の一人として位置付けられている。

(ア) ① ロシア      ② イギリス      ③ ハンガリー      ④ ドイツ      ⑤ オーストリア

(イ) ① オルガン      ② ピアノ      ③ オーボエ      ④ トロンボーン      ⑤ チューバ

(ア)	(イ)
24	25

(2) 次の文はこの曲について書かれている。(ア)～(ウ)にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

管弦楽組曲「惑星」は、太陽系の惑星のうち(ア)つを題材にした作品で、この曲は第4曲に当たる。この曲の副題は(イ)である。曲は、急速で華やかな部分から始まり、それが静まるとゆったりとした(ウ)な部分が現れ、再び華やかな部分に戻っていくという構成になっている。

(ア) ① 4      ② 5      ③ 6      ④ 7      ⑤ 8

(イ) ① 快樂をもたらす者      ② 老いをもたらす者      ③ 戦争をもたらす者  
④ 平和をもたらす者      ⑤ 翼のある使者

(ウ) ① アジア風      ② ロンド風      ③ 和風      ④ 都会風      ⑤ 民謡風

(ア)	(イ)	(ウ)
26	27	28

(3) 「オーケストラのひびきを味わいながらきこう」という学習目標を設定し、この曲を教材に小学校6年生で授業をする。主な指導の手立てとして適切なものを①～⑤から2つ選び、番号で答えよ。

- ① 楽曲全体にわたる曲想とその変化の特徴、全体の構成、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかり合いから、想像したり感じ取ったりするように促す。
- ② 和音の移り変わりを感じながら、情景を思い浮かべて聴くように促す。
- ③ 旋律が反復されるときに楽器の音色がどのように変化しているのかに注目して聴くように促す。
- ④ 中間部の8分の6拍子の雰囲気を感じ取り易くするために、指揮をしながら聴くように促す。
- ⑤ この曲は神話を忠実に再現しているので、物語の読み聞かせをした後に、情景をイメージしながら聴くように促す。

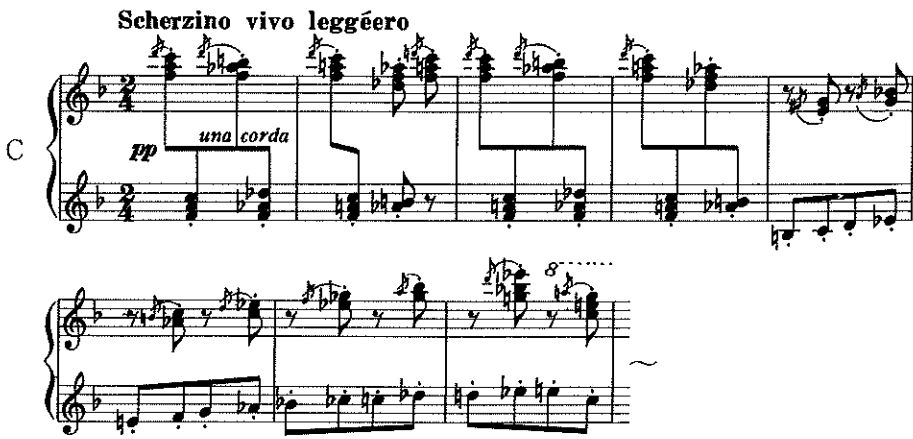
29
----

30
----

【6】 下の楽譜について、次の問いに答えよ。

A 

B 

C **Scherzino vivo leggiero**  


D **Allegro alla brève, maestoso, con grandezza**  


(1) 次の文の (ア)～(エ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

この作品は、作曲者の親友であった建築家で画家の(ア)の遺作展覧会をきっかけにつくられた。絵にちなんだ10曲に加え、楽譜Aの「(イ)」と呼ばれる部分が、何度か形を変えて冒頭や曲間で演奏される。

作曲者は、(ウ)世紀のロシアを代表する作曲家の一人である。この作品はもともとピアノのために書かれたが、のちに多くの作曲家によって管弦楽に編曲された。ラヴェルによって編曲されたものでは、楽譜Bの旋律は(エ)で演奏される。

- (ア) ① ガルトマン    ② カンディンスキー    ③ パラキレフ    ④ キュイ    ⑤ ガウディ  
(イ) ① ブイドロ    ② リモージュ    ③ カタコンブ    ④ はげ山の一晩  
      ⑤ プロムナード  
(ウ) ① 16                ② 17                ③ 18                ④ 19                ⑤ 20  
(エ) ① クラリネット    ② コールアングレ    ③ サクソフォーン  
      ④ ヴィオラ            ⑤ チェロ

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
31	32	33	34

(2) 楽譜Bの曲名を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① こびと    ② 鶏の足の上に建っている小屋    ③ テュイルリー  
④ 古城    ⑤ ザムエル・ゴルデンベルクとシュムイル

35

(3) 楽譜Cと楽譜Dの曲をラヴェルによって編曲されたものを用いて鑑賞の授業をする。生徒に知覚・感受させる内容の例として、適切なものをそれぞれ次の①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① チューバの重厚な主旋律が、農民の憂鬱な気持ちを表している。  
② 金管楽器による壮大な響きが、どっしりとした門を表している。  
③ 木管楽器の旋律が単調な伴奏によって現れ、感傷的な雰囲気を醸し出している。  
④ 打楽器のたたきつけるような鋭い動機で始まり、何物かが活動し始めたような感じを受ける。  
⑤ 弾むようなリズムと高い音から、小さな動物が動き回っている様子を感じさせる。

楽譜C	楽譜D
36	37

【7】「能」について、次の問いに答えよ。

(1) 能の「囃子」で用いることがない楽器を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 小鼓      ② 笛      ③ 三味線      ④ 大鼓      ⑤ 太鼓

38

(2) 次の文のうち、「謡」の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 通常6人の「地謡」が、登場人物の心理や情景などを描写した「謡」を担当する。  
 ② 「謡」の伴奏は打楽器のみで行う。  
 ③ 登場人物のせりふの多くは、「フシ」として一定の抑揚をつけて表現される。  
 ④ 演奏者によって、フシや詞章が少しずつ異なる。  
 ⑤ 「地謡」は舞台裏の「鏡の間」で演奏する。

39

(3) 次の文のうち、「シテ」の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① あの世からやってくる霊や神に扮することが多いので、ほとんどの場合、面をかけて演技する。  
 ② 様々な主人公を演技、舞で表現するが、謡やせりふはない。  
 ③ 主人公の相手役で、現実には生きている人間に扮する。  
 ④ 主人公がいったん退場したあとに登場して、もう一度物語を分かりやすく説明する。  
 ⑤ 庶民を演じることが多く、面をかけず日常の滑稽な場面を表情豊かに演技する。

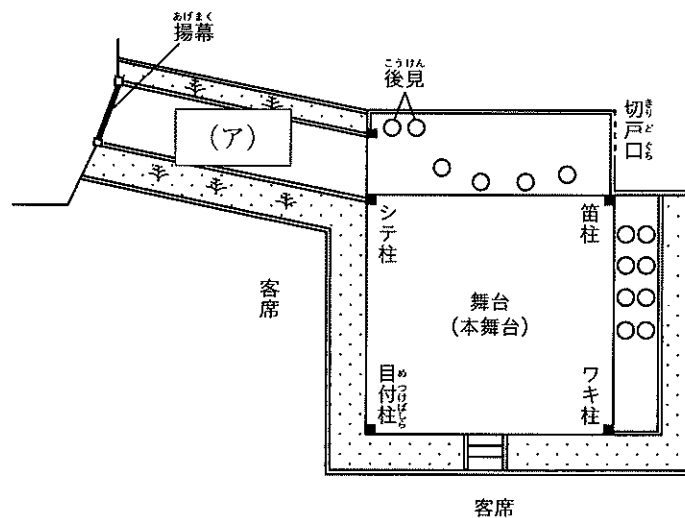
40

(4) 面には様々な種類があるが、女性の怨霊の面を何というか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 小面      ② 中将      ③ 直面      ④ 尉面      ⑤ 般若

41

(5) 次の図の(ア)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ



- ① 廻り舞台      ② 橋掛り      ③ 花道      ④ 後座      ⑤ 鏡板

42

【8】 民族音楽に関する次の問いに答えよ。

(1) 次の文の (ア) (イ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア) はバリ島やジャワ島などインドネシア各地で行われている金属打楽器を中心としたアンサンブルである。バリ島では、ガンサ、レヨン、クンダン、チェンチェン、ゴング、スリンなどが用いられる。

- ① アリラン      ② ヨーデル      ③ ケチャ      ④ ガムラン      ⑤ ゴスペル

通常の弦楽器とは、弦の高低の並び方が逆になっている。共鳴胴箱には家畜や蛇の皮が張られていたが、今ではほとんど木製になっているようである。「馬頭琴」とも呼ばれている (イ) は、モンゴルの人々にとって特別な楽器である。

- ① カッターリー      ② シタール      ③ サウン・ガウ      ④ ホーミー      ⑤ モリンホール

(ア)	(イ)
43	44

(2) 次の楽器のうち、管楽器を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ウード      ② パラライカ      ③ ケーン      ④ アルファー      ⑤ ツィター      45

(3) 主に声を使った民族音楽を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① パンソリ      ② テイン・ホイッスル      ③ ニヤ・ニヤック  
④ チャールダーシュ      ⑤ サンバ      46

【9】 学習指導要領について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の音楽科の目標の一部である。(ア) (イ) にはまる適切なものを①～⑧から選び、番号で答えよ。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な（ア）を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、  
（イ）を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。  
(2) 省略  
(3) 省略

〈語群〉

- ① 思考力                      ② 創意工夫                      ③ 判断力                      ④ 感性                      ⑤ 〔共通事項〕  
⑥ 自己のイメージ              ⑦ 見方・考え方              ⑧ 思考力, 判断力, 表現力等

(ア)	(イ)
47	48

- (2) 次の文は、小学校・中学校学習指導要領（平成29年3月告示）及び高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）の一部である。中学校学習指導要領を①～③から選び、番号で答えよ。

- ① 我が国や郷土の音楽の指導に当たっては、そのよさなどを感じ取って表現したり鑑賞したりできるよう、音源や楽譜等の示し方、伴奏の仕方、曲に合った歌い方や楽器の演奏の仕方などの指導方法を工夫すること。  
② 内容の「A表現」の指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。その際、内容の「B鑑賞」の(1)のア及びイの(イ)又は(ウ)との関連を図るよう配慮するものとする。  
③ 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導に当たっては、言葉と音楽との関係、姿勢や身体の使い方についても配慮するとともに、適宜、口唱歌くちしょうがを用いること。

49



【10】 次の各文と楽譜について、次の問いに答えよ。

19世紀後半から20世紀前半にかけて、ヨーロッパを中心に、音楽の創作、演奏活動が盛んに行われ、その中で、ピアノの演奏技術が飛躍的に進歩した。この時期、ピアノの演奏技術の向上は、音楽の表現力に大きく影響を与えた。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

この時期、民間音楽が盛んに行われ、その中で、ピアノの演奏技術が飛躍的に進歩した。この時期、ピアノの演奏技術の向上は、音楽の表現力に大きく影響を与えた。

〔楽譜A〕

(1) (ア) (イ) にあてはまる適切な数字の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① (ア) 15 (イ) 16      ② (ア) 15 (イ) 17      ③ (ア) 16 (イ) 17  
④ (ア) 17 (イ) 18      ⑤ (ア) 17 (イ) 19

50

(2) (ウ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 主音      ② 下属音      ③ 属音      ④ 下中音      ⑤ 導音

51

(3) 文中の下線部に該当する箇所を〔楽譜A〕に示された①～⑤から選び、番号で答えよ。

52

(4) 〔楽譜A〕の楽曲の歴史的な背景として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ピアノが改良されて表現力が向上し、豊かな芸術表現ができる楽器となった。  
② 宮廷や教会に保護された音楽が盛んであった。  
③ 数々の優れた詩人や作家が登場し、音楽家に影響を与えた。  
④ 市民階級の人々が音楽の担い手となった。  
⑤ 自国の民族音楽の特徴を活かして、芸術音楽を発展させる動きが活発になった。

53

(5) [楽譜A] の楽曲の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 合奏協奏曲の一部である。
- ② 受難曲の一部である。
- ③ 連作歌曲集の一部である。
- ④ 喜歌劇の一部である。
- ⑤ 交響曲の一部である。

(6) [楽譜A] のアルトをトランペット、テナーをホルンで演奏できるように、解答用紙の金管四重奏の総譜に調号を用いて記譜せよ。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

[楽譜B]



(7) (エ)～(カ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (エ) ① 主音      ② 中音      ③ 下屬音      ④ 属音      ⑤ 導音      55

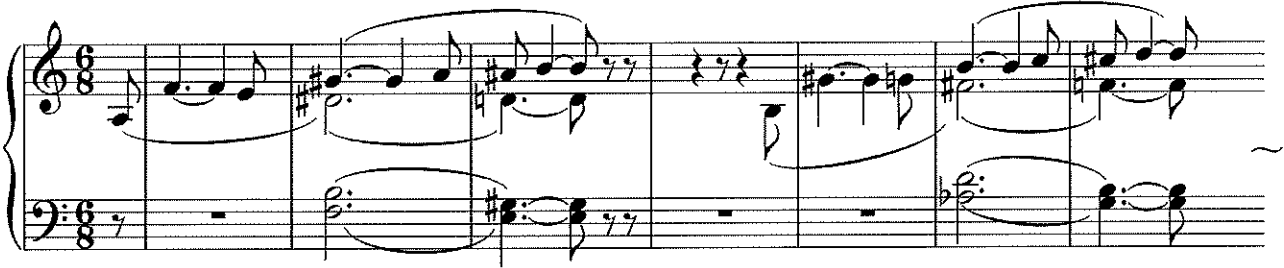
- (オ) ① ベルリオーズ      ② ショパン      ③ シューマン  
 ④ シューベルト      ⑤ メンデルスゾーン      56

- (カ) ① 1種類      ② 2種類      ③ 3種類      ④ 4種類      ⑤ 5種類      57

④ 作曲家の著作権保護の観点により、掲載いたしません。

④ 作曲家の著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[楽譜C]



(8) (キ)～(シ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(キ) ① ヴェーバー ② ロッシーニ ③ ヴェルディ  
④ ヴァーグナー ⑤ R.シュトラウス 58

(ク) ① イ短調 ② ロ短調 ③ 嬰ハ短調 ④ ニ短調 ⑤ ホ短調 59

(ケ) ① トニック ② ゼクエント ③ ドッペルドミナント  
④ サブドミナント ⑤ ドミナント 60

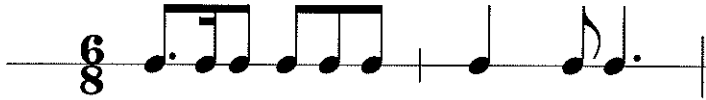
(コ) ① 先取音 ② 逸音 ③ 経過音 ④ 倚音 ⑤ 保続音 61

(サ) ① 主和音 ② 下屬和音 ③ 増七の和音 ④ 導七の和音 ⑤ 属七の和音 62

(シ) ① 計量記譜法 ② 12音技法 ③ 全音音階  
④ 神秘和音 ⑤ 教会旋法 63

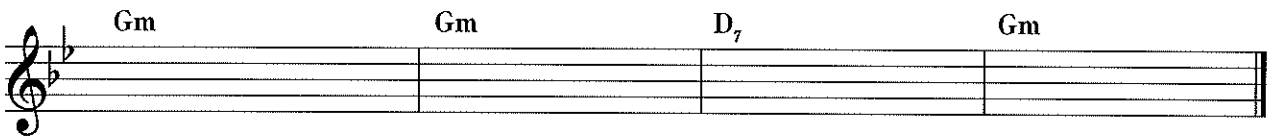
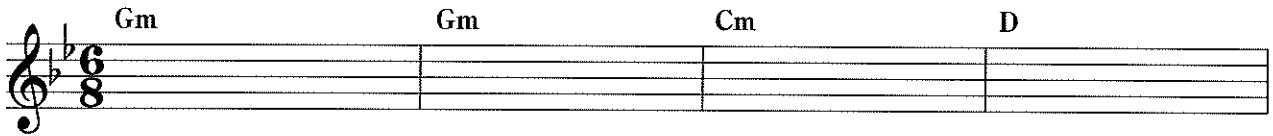
【11】 提示されたリズム動機を用いて、一部形式 (a a') の楽曲を完成させよ。ただし、下の条件に合わせてつくること。

<リズム動機>



<条件>

- ① 楽譜に示されたコード進行を使う。(非和音を使ってもよい。)
- ② 旋律的短音階でつくる。







② 中高 音楽科 解答用紙

【10】(6)

トランペット 1 in B♭

トランペット 2 in B♭

ホルン in F

ユーフォニアム

小計

【11】

Gm                      Gm                      Cm                      D

Gm                      Gm                      D<sub>7</sub>                      Gm

小計

